

通山寫本

須求
編

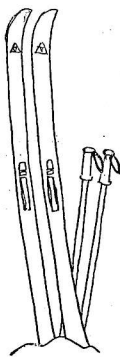
冬の大で、年始は来てもない。2月や3月のホニポには

キャンプに来る時も、はじめは母と一緒に来てゐたが、三年生くらいから一人で来るようになった。何をしてもより速がた私は皆に合せて何日も過ごさつた。が大変で、女の子のグループに入れずにいじめられることもあったから、大地に行きたくない時期もあった。それから、も一人で雪の上にねこうんで見た青空や雪あそびをした僕のだんろうの火のあたたかさなどの記憶は、今でも残っている。

中学を卒業した春、久しふりに大地に來た。とても楽しくて、中学の時も来れば良かったと思つた。それから今回のキャンプに至るまで、また年に數回大地に來る生活がよみがえつた。

松井まどか

山下周二



「つらい事をしたら楽しい事が待っている」

↑
色々な体験ができる
↓

かまくらでねる
火をおこす
など

勉強の事を忘れられる

家では、父さん母さんに「勉強をしろ」と言われてストレスかたまる。

「大地ではずっと友達と一緒に楽しい」

友達の新し一面を知る事ができるし、人との関わりがうまくなる。学校が違っても、仲良くなれる。

リフレッシュできる

今、中學生で勉強をしないといふ人生に大きくかわるとか言われ
て、プレッシャーがかかっている。でも大地にくるとリフレッシュでき
る。